玉溪集

二

特別
チ12
3643
45(2)

支開合の事ハ世間乃肝要なり熟して事ハ[illegible]
[illegible]くハ文字乃ち文字そろく彼是つゝひ開合乃俗てゝ
那一般に強曲なりひて始一もせはらとも一せ心得く
文字ハ開合ハ成るゝ所事乃ちハ[illegible]ハ根かをそうしゆひ未
練乃いろりせいふへ一たしへハ音曲者は是を肝要にて
文音乃わさまはいうて味色き
文字乃ち開ひハ音曲乃みちやや至たり物ゝた中古い
来取矣ひく開合こいふをは文字うはり爽口あひ　又ハ志ち
すつ曲乃濁りかゝれたひ近のやうに之之適

ゆくすかむを稿とする人と板ヶ書ヶ写ル誤
ちも西ちん其書を教ふに親ひ文字ヶ引合せ毎
書記するものなれ故人と見を写へき事ちせん
勿論青侵連聲写ル事ハ沙汰を除人とおく用
合の虚実世に裏へしり今日り是を正一弁へて
文字仮名つひを会得せは(エトク)猶ひ物ヶ限ヶ凡て(スベテ)の
漢和平生ル言説ヶ多ル迷もものつとら明ヶへし
一百番用合乃相下用ヶ(ハく)の下合ヶハ=の下を用ル(ハホム)
一一毎ル内前ヶ生ル文字又後ヶ生ハ不記

たうきん 当今	てんわう 天皇	らうじん 老人	ぜうし 尉
きのふ 今日	ゐぐわん 偉	ゐぐわん 偉	そうし 僧
さやう 左様	ふやう 云様	いかやう 如何様	たりし 思
あらふ 有			たまふ 給
			まいらす 参

是ハ度ヶ生ル言葉故変ヶ為せて番毎ヶハ省く

ふよちやう 女姓	さふらふ 侍	まうす 申	まうさふ 申
かやう 様	まうす 申	まうすやう 申様	

一いうきうちうふうひうみうまう
冊引音ハ刻ルかるて用合不紛故略ス　見う 一流ハワル 一流ハミヨウト延ル
一くうすうつうぬふふうゆうむう
冊引音もすぐむかるて用合不紛故略ス
一訓(ヨミ)の引音ハ用合の下ちりて文字ハ不記 不ようりて字を加へる所もち

一ゑけせてねへめえれノ假名ハ合音の内なれども開ト合トの中音
なかなれもうヲ付て引音ゑ時ハをこそとチ
のヨかもよイョろリョ 此拗音こうヲ付て唱ふせをこそ
とのかもよろたハそつらゐ合音故ゑゑけせてねへめえれノ
引音も合音に付る也 ユウ ケウ セウ テウ ネウ ヘウ メウ エウ レウ
イヨウ キヨウ シヨウ チヨウ ニヨウ ヒヨウ ミヨウ イヨウ リヨウ
此かな遍用ゆゑ依て皆二字假名を用ゆる也 ゑ口内ゆゑに唱重
ゑ中音ゑゐれも古来開ト合トの二ゑゑ分ゐ故是ゑ隨ふもの也
正音 リヨウ チヨウ
松せう 龍りう 訟しう 龍てう 鐘しう 恭けう
けう 重てう 陵りう 氷へう 丞せう 勝しう

羨せう 乗しう 勇いう 用いう 容いう 大槩此類なり
一くりう ノ事 或人合音と云頭ノ ク 音ゑ依て動ふる名ハかノ
拗音ゑて ゑを伸引故開音の字をかふ
一入声字ノ事 ふつくちきノ外ハなく引音ハ皆ふ書箸之
ウ開合ゑかまひハかー 拗をも正音に付せてふ用ゆる也
答 塔 雑 臘 接 妾 獵 押 合 劫 峽 法
葉 脇 帖 業
入 立 十 執 集 及 急
ゑも入声字也 此ゑゑふ如く皆刻て唱ふる字ゑて開合の
下ハかなれも書ぬ故ゑ引ゑ

一寶（ハウ 正 俗ホウ） 褓（ハウ 俗ホウ） 襃（ハウ 俗ホウ） 望（バウ 俗ホウ モウ） 毛（バウ 俗ホウ モウ）

報（ハウ 俗ホウ） 艘（サウ 俗ソウ）

式類正音ヲ用テ開トヲ加フ

一甚（ジン 俗チン） 食枕切正音ジンヂの相遠有故爰ニ記ス

一保 博考切ハウ 補通切ホウ 項 戸講切カウ 戸孔切コウ 窓 初莊切サウ 祖冬切ソウ

かやうなる同し正音にて後の字ハ其形をまし所を泊し方を不加

法 方甲切ハフ 甫乏切ホフ 常ノ用ニ用ユ 仏語ニ用ユ

一勅諚 御諚

世後の字俗字なり元来御詔勅詔日事なるを後世二文字ニ分ち詔ハミコトノリと訓する故ニ爰を悼て御詔なる後乃字を似り給うと見えたり支故今勅後ハ諚ハ詔の字ニ改てすがむ方を加へ御後ハ俗字ニ倣ひて開く方を加フ

一引音ハ一字開合二字開合といふ有一字開合ハ二字假名にて一字を伸たる引音タウトウの類ひ也なり二字開合といふハ三字かゝりて二字を伸うる引音リヤウ名ウの類ひ也開合と云ハ開くとて口をひらくなあ（ア）ひ舌つゝひかりて息をちゝん口内にて開く也合むとて口をすぼ（スボ）めぐゝ引ひ唇ハ閉すかめて発又舌つゝひあり其外前者ニ乃すハする所ハ実に略ひ難しく開合乃すハ逐一口傳なりてハ此一類一條絲なくてハ叶ふまし

一世所引音ニ准する開合ニ記ス 前巻

いろはの頭字ニテ合類 いトゐ をトお えトゑ 一所

| | | |

一 高砂

きよ豊ひさ　松ことぶき　かなふ　たうきよ　相生のやうに　ひきやう　きやうあふ
かなふ　きやうたいのまんえふきふ　上　葉　さうとく　草　やうきやん　陽　えふ　葉　せうえき　松　ちやう　長
のう　能　うきやうひやう　情　ひやう　東　ふう　十八こう　公　ちやうこう　皇　てう　朝　きやうえん　賞
ひやうし　柏　せうえん　松　かうべ　影　やうかう　向　くけやうらく　城

二 敍波

きやうし　成　けうこう　向　いきふあるる　はんむあきやうく　きやうこうえん　賞　れんちやう　誕　こうし　皇
こうきやん　堯　かう　豊　ふうこう　さうふる　名あり　きやんあうてんをこうせん　驚　奏
こうにん　王　てうし　調　こうこう　嘲　さいきやうらうく　来　老　えこう　頭

三 玉井

乃さまふ　名よたふ　こうとうん　元　えこふ　男こう　幸　せうこう　兄才　ものときし　清　てうしん　釣
大弩よせうし　弟　まうこう　真人　そうし　奏　てうこふ　らうきう　老　龍　こうこう　鼓　ひやうし　拍　ふちやう　丈

四 志賀

かうきう　江　名よおふ　ちがあふ　せうかくてき　焦　おうせね　衣　きやうらふ　上膳　ものたう　谷　ちやう　頂
さうかんこう　相　衣　ものふこう　貧　てうし　調　あふこ　むふ　まこう　光　ひやうし　拍

五 呉服

たたこうこふ　名あふ　ちよこう　エ　たうきん　衣　つふこう　ぐこうこう　皇　后　ごうぐう　かぐら
ねてう　朝　こうきん　東　さうこん　滄　そうこう　奏　えんきう　龍　さうし　想　きこうちやう　丁

妙童 影向 ふるさと

六 養老

濃 奏 養老 生 茅 橋 頭 ヤー

長 令 葉 浸陽ヲ誤ツテ ふるさと ト唱ヘ来

草 揚 生 方

影向 水たるる 蕩々

七 白ひけ

江 明 江 澂々 光 明朝

光 光 勅

葉 聖 成 道 教 行 生 仏

性 常 葉 脇 法 妙 法 名

老翁 光 方 東 方 東 燈

奏 柏 動 両 燈 燈の光

勝草

八 竹生島

江 明 上 生 生 上 生 動 湖 上

正 王 生 行

獅子頬王ヲつつ王ト祝者 浄梵王ノ父也ト 一説

九　老松

かうふり　下かう　向　かすよ　ぬのて　うゆ　つよ　こうえの　紅　ろうろう　朧月

せうかく　松　流　拍　ほんたよ　塔　すいちやう　帳　こうけい　紅　きんせう　鐘　初きたろう　断　さう　草

ろく　わうてう　朝　たうの帝　唐　かうふんかく　好　きたのこう　皇

十　加茂

みやうもん　明　たうや　當　かけうよ　かうろう　仰　えうゆん　光　くまよ　うろふ　法

もゆーやう　生　かんおう　應　やうろう　影　向　みめう　妙　さうかうもうもん　相　好　莊　さうりく　草

こうえう　動　搖　ほうもやう　王　城　ひきやうし　行　えうろん　方　えうこうこうもん　光　同　もうこん　成

わくさう　光　立そよや

十　白樂天

たうく　唐　こうこう　東　日かれやう　へきらうてん　浪　かいやう　上　えたう　濤　さうせん　小　一さう　艘

きよおう　翁　わうてう　朝　てうろう　鳥　せうれ　燈　ろうろん　孝　天皇のきよう　市中　初やうまいてらら　陽　朝

ふさう　遭　笛ハきうの　龍　まよへーや　みやうもん　明　曲をそう　美

十二　右近

らくやう　陽　面白うふたうそ　桃　中ほよ　こそよ　名ゆーあよ　こうたいよの　紅　きんろう　神幸　花

ちやうえん　上　ほうそう　光　ゆくやう　光　てりそよ　ひやうし　拍　こうちん　東　ゑそよ　紙ろよ　こうよ

十三　田村

こうこく　東　ゑそよ　かうそーく　たうし　酒　たいこう　大同　さうさう　草創　ちやうん　正　らうおう　老翁

きやうえい 行
たかた 塔
ちやん せう 宵
せいきやう 香
さそ
せいやう 陽
田村たう 堂
きやう 経
他やう 生
おうこ 擁
人さう 王
こういん 東
くんひやう 兵
くきみせう 咲
けうと 兜
そうち 王
名あり
あか 坂
ひかこ
こうえう 勳
ぬか
そうね 王

十四 八鴻

かいしやう 上
えたう 濤
きよおう 翁
そめて
ちやう 湘
一えよ 葉
休まよ
味
ふまう 望
一ちやう 町
たちやうくん 將
五位のせう 尉
宿名の訓あり
今ねやう
ひやうせん 兵
さうせう 艘
ちらう 弗
七記ちうね 兵
さうへ 左右
えうそうん 判
さそう 藤
こうと 嘲
ちやう
きくこう 王
えきやう 鏡
まうちう 妄
きやうこう 境
ふめん 業
ちうど 生
こきやう 卿
ちうたう 道
たうよ
あやうく
小ひやう 兵
ふうしや 勇
こうき 後
ちんこう 勳
一こう 同
さうちうる

十五 忠度

そふへ
おゆのちやう 誕
かまよ
うけうふ
まのよ
まうしう 妄
二たう 道
せいやう 上
きよう 沛宇
ふてう 條
俊成のきやう 卿
今はかうと
うのやう 上
まやうて 丙
とう 嘲
らうこう 郎等
うみやうのんせう 光明 照
十たう 方
ちうしやう 生
かまよ

十六 通盛

清きやう 経
つふ
あんこう 濤
せいこう 光
かまよ
まやうこう 却
ちやうとん 聽
のんきやう 成
小さいしやう 相
えたやう 上
ふうらふ
ちうまふ
たうのんうん 方
ちうしやう 生
かいまやうふ 令
あうこう 卿
ひやうく 兵
ふしやう 將
をよて 遊
こうふち 明
こうう 項
かうと 高
すかう 行
焼こうして
あふこ
まうけ
まうちうと 向丁
ちうたう 左
らいこう 近
きやうぐう 成

十七 清經

中さやう 將
さふらう 三帝
さふひやう 雜兵
やまふ
ちとう 頭
一しやう 床
こきやう 綱
ちやうよ
やはられさう 城
そうきよ 皇
からへい 奉
さんらう 籠
さんさう 宝
ちやうく 幸
むふ
からえん 保さうた
一えふ 葉
さやうらきのかうへ 正
やうさう 陽声 笛ノ異名ニ青葉アリ 一説ニ是シ上下ニ唱ル名
いまやう
らうえい 朗
きやうし 狂
ちやうたう 塔
てうしやう 城
さうぬん 憍
たうちやう 道場
むこやうもかつさやう 明性

十八 敦盛

熊谷の次郎 帝
ちやうもん 生
今のやう
ちやうゆう 成
十さう 方
ちやうしやう 生
さうら 向
ちやうー 法
ふせう 鐘
むさやうめさいしやう 量障
せうみやう 称名
たしやう 生
ちやうとう 頭
ちやうく 上
ちいえふ 累葉
あふす
一えふ 葉
らうてう 籠鳥
せうう
なふもまふ 應
せうう 樵

十九 頼政

今やう
さやうの内 城
らうえい 朗
むやうし 拍
ひやうせん 兵
ほうそさうし 報
らくやう 陽
とうきう 蒙
そうづ 僧
名ーふ
ひやうこうん 等
めいしやう 將
あふき
さうろ 草
かうしん 行
まふふよ 侍
こうは 紅
ちきやう 位
そのふ 園生
ちせう 美
ふみ
たふ
ちやうめう 淨妙
さうかう
たうらめ 田原
ちやうら 町
きやうたい 兄
たしやう 生

廿 朝長

さうさうし 清涼
あをうさうし 青表紙ノ文字ノ誤
あをうさうし 青
あとふ
ちやうしや 長
とさう 撥
たしやう 生
ゆくえう 邱
やうか 八日
うえう 王
のさまふ
さふひやう 雜兵
十えう 方
ちやうし 聖
せうん 亡
せきやう 陽
有かさう
さうけいさうこと成てこたふ 草
十えう 方
ちやうし 聖
せうん 亡

まうしゃ 亡
せんぶ 法
みりょうとらうし 講
たうらい 到
こうえふ 紅葉
ぶ

比一　実盛

さいとう 方
せうみやう 称名
らうかん 老
ちやう 上
ちやう
ちやう
ちやう

内きんてう 王
まうしう 妄
ぢきやう 行
かうよう
ちふも
えけふ
ちらふ
せうう 松
すいちやうこうけい 帳紅
むしやう 常
仏ひやうとう 平等
すいちやうしやうちよちやふう 生性同
めうてん 妙
仏たう 道
さうわく 草
ちやうかう 成
ほうえうわん 報
やくさう 草

十四 野乃文

らくやう 陽
あくちやう
まうで
せんえう 坊
ちやうて 定
ぢんをうみや
ふこう
まうしう 妄
えうく 荒々
ちやうど 生

十五 新場橋

とうて 東
かうあんかくみいあう 鶯
ちやくとう 上東
ちやうりんわん
ちやうきやう 経
えうち 走
ちふ
ぢたうれ 堂
かけきやう 経
ちやうとうちやうかく 成等正

十六 宋女

ちやうりんのうせん 耶々
たうや 南
ちやうく 常
ちやうはたく 僧
うんかふ 法
てうか 朝
ちやうく 上
ちやうれさう 相
ちやうかう 法
てうか 東
ちやうせい 後
みやうかん 冥
てんとう 道
ちやうせう 王城
えうふ
ちやうりんてん 妙
ちやうく 法
ちやうてん 唐
たうの 一流
ちやうく 陽
ちやうてん 鷲
らくやう 陽
とをか 十日
かうたけよ 更
みやうしんのうせん 宝
かうくうろ
ちやうく 影
えふ 業
ちやうしゆ 成
まんきやう 行
ちやうく 草
ちやうか 成
仏ちふ 法
ふやく 霊
ちやうく 成
めうかけきやう 経
ちやうく 生
ちやうく 草
ちやうとけきやう 経
ちふく
仏しやう 性
ちやうく 成
ちんえう 方
せうしやう 上
ちやうく
まうけ
ひやうし 拍
あたうくじて 蕩々
ちやうく 生
ちやうく 成
ちやうく 霊
ちやうとけきやう 経
ちふく
ちやうく 成
ちんえう 方
せうしやう 上
ちやうく
まうけ
ひやうし 拍
あたうくじて 蕩々
面ハとよう 跳踊
うん乗せう 乗

十七 源氏供養

法 帖 養 向 更 舞
常 生 妃 明 成 等 正
法性 業 往生 生 浪 明 方
業障 上 宝 莊 辻 方
往 方

十八 井筒

堂 向 荒々 將 亡夫

十九 楊貴妃

京皇 方 容 双 揚 揚 号 黄
蓬 莊 宝 唐 唐 九花れ
帳 蓉 央 石 姜 生 あせ
賞 生 永々 生 上 老少 定
上 徒 窓 老同 定 あこえ

三十 夕顔

除 陽 湘江 條 條 成
障 氣 疎

三十一 玉鬘

せうまい 小
たいやう 生
きやうゑん 成
むやう 常
ろうさい 樓
ちきやう 紅
てうか 朝
こうさやう 紅
せきやう 陽
うんきやう 峽
たせう 蕉
たそう 窓
うんこう 行
うんーやう 省
きんちやう 帳
さうあん 草
ちやうん 聽
ひーやう 情
さうホン 草
やくさう 草
うちやうひーやう 情
ちよほう 法
ちよほう 実
さう 相
むふ
ぎやう 行
つくふーん
あふこと
むさう 相
ーちんふの 法
さうせう 霜
やうたうる 楊
たうる 桃
あふ
あふの風
ちうく 苑々
うりう
三十二
江口
天王 うるさいきやうふーし
行法 いうふ
名よたふ
かりふ
うたふ
あふせ
川 せうえう 逍遥
のさまふ
若ーやう 生
ちやうく 生々
わさまふう
天ーやう 上
てんたうめいまう 倒妄
名ふ 妄
さいふ 葉
こうえふ 紅
こうきんちう 紅
こうえふ 紅葉
一流ハさうえうけり 黄
こうかうけり 黄纈
うつうふ
せうちう 松
すいちやうこうけい 帳紅
さうもく 草
まうさう 妄涙
ぜんのか音ヲ ヒントト張ル
ちちんのけふ 樂
実さう 相
ひやくさう 象
三十三
佛原
せんちやう 定
さうたう 草堂
ちきやう 経
ふーやう 障
三流 一流ハさんせう 一流ハさんじう
うんたう 導
まうーや 七
白ひやうーー 柏
こきやう 卿
うふう
ちやうふ
ちやうふ 成
一ふーやう 成
ーふーやうたう 道
さう 草
木ふ土 ちやうう 相
きまう 王
ーやう 上
てうあい 髭
ふーふ 師
三十四
千手
ちやうう 相
ちけひーのきやう 卿
てうて 朝
てき
ーれちやう 長
ーじふたう 頭
やうま李廣利を退ル
うなふ ちちやう 渡
ーやうすれた 請
ふーさう 像
うんさう 當

弟子業　らきのてういろ重　らうあい朗　うんやう生　てうあい鼎　たふ

焼くらうして八すくう行　たーやう左　白しやうー柏　くうよせうー興乗

三十五　ゆや

ことたうと　ちやうを八長　ねちみ　さうわく草　せうーや笑　文のやうも教すくなう

うを教　ちやうー生　ゆきあふも　よきやうよや　かうくう孝行　かうも　こうー同　や

ゑをかうして為　たゆふて　せーやう上　四てうふてう條　名ごねみ

地蔵堂　とうさう同　ちさう方　ちさう道　かうみ　きやうかくこう経堂　ふ安れうふ塔

ちうう　はうさう高　てふまみ蝶舞　ふうーやう上　祇園しやう精舎　法きやうむーやう常

きやらさうー双　しう者生　おうこ擁　ふうこうう乃　たふこやか　ふたやう生　体らふあふ坂

三十六　松風

やう有け　きやう経会伝　ねあう　くまふよ　かあふ　さうえから　有こう　ふ人

きうーやう傷　せをえやう　まうきう妄　ゆにあふう生　風もきやうーて狂

三十七　二人静

たうーや南　こうく　きいこう葉　一日きやう絃　うたふ　まうみ　ふんこたうえ乃　きやうき狂

たううえん判　ナらう郎　きやうす上　舞をまて　きやうちく饗　いーやう賞　せいうく好

たうさう宝蔵　けうこ兜　せうせん小　大徒のうーし王　みーうれ河　せう祝少

三十八　園寺小町

秋よあく　うくーう江　うくーう講堂　らうちよ老　ふたう道　ふやうう涼　かあく　さうえ草

やうやく　養へきやう　まあらふ　あふを　有くさう　例すくなう　允けう天ちう 恭皇
さそふ　かんふく　なるらふ　うたふ　うろふ　さうえふ 草葉　教えふ　すいしやう 晶
抜きやうむしやう 行常　らく尼 老　あふ坂　せしやうめつ 生法　らくえふ 葉　くるみやう
をうか　うけろふ　こうふ 童　きやうく人 狂　ミてふ 蝶　たくふ　ちまふ

三十九　あふむ小町

李太白詩ノ断腸ヲ誤テまいてうト唱フ

ようせいゆん 陽　かるふ　ちやくす 上　ふようう 蓉　まいてう　せうすい 顧　こうを 凍　まらふい
昔をこふろ　山たうく　きやうく人 狂　和をこふ　せんこう 羽　なるらふ函　たうり 道
らうえん 老　きやうきゆ 狂　ちふあむ　うぬ 高　ちやうう 長　せんこう 頭　こうふ　をうを
よしやうく 餘情　たうを 桃　せうすいを裏てたんていひちをつ 別作疲瘦　アラズ　ちゆらく 法　ちうを 先

そとは小町

くうやさん 高　仏けう 教　ウそふ　くうまん 憍　やうまう 揚　あうせい 鶯　いそふ　けうけ 教
ろろふすろ　ちきしやう 性　ちんくう 剛　さまやきやう 形　やうをさんあくたう 五永
かんかう 悩　ミやうきやう 明鏡　ちゆしやう 生　えうけん 方　そう八わうへを 僧　らまう 綾
あうして　かうへまはさうかう 霜蓬　あやうひん 両　さうも 雙　じをふ　そくとう 豆
をきふへき 抑　ろとう 頭　おをこふ　きやうらん 狂　かようふよなふ 通　ふうて　ふるすを
なうて　せうしやう 少將　えやうえ 淨　うよあふる 福　ふを　たふと 塔　まうえ 黄　いらふよ 入

卅一　巫小町

えやうかんまう 淨王　ひうふ 二尾　あふのうなし 生　大せう 小　かきけすやう　うたふ

きうあん 草庵
かうをたき 香
ちやうてうちやうかく 成等正覚
ちやうしうせう 生証
かちふほ
仏たうく 道
まつふ
ねんぶつ 念仏
せうしやう 女將
まちぶさく

四十二 格垣

ちやうせう 勝
さんろう 籠
きやうそう 卿
らうちよ 老
ろうてう 籠鳥
らうすい 老
さうえふ 草葉
ちう
ひやうし 拍
ちんてう 條
かんこう 頭
こうえん 紅
くけん 郊
むしやう 常
ちやうし 生
らうてう 老少
こうあん 紅
らうすい 老
ふの細布 狭布
とハかく
こうあん 紅
ちやうせう 勝
こうえふ 紅葉
こうあん 一流ハ紅黄

四十三 嫌捨

ちやうあん
てりそふ
ひからうちよ 老
ちよらうそう 帝
けうよ 興
せいそう 光
かいそう 嬌
てうせ 超
そうみやう 光明
こうそう 光
ちやうおうしてさいたうよ 生應方

ひよう 脇
てんやう 上
てんしん 天上シル テント誤
そうすとう 号
たうのちやうと 方浄
ちやうろう 楼
ふんそう 芳
かうしうひんろ 陵
あふむ
むろんそう 光
こうふまつしう 妄

四十四 大原法華

九らう 帝
そうそんきやうたい 判見
神たう 室
ようかん 女 ヨミ ヨウト引
ちやうかん 光
ちやうかう 法皇
ちやくせう 詔
きやうそう 行幸
ちよあはうふ
ちやうかんそう 浄王
あんきやうー 行
ちやうたう 成道
ちふ
みたう 堂
かうそくし 香
ちやうちう 常
まいてう 翟
までふこうち 小路
あらふする
えらぶんゆいせう 稱
みさくしやう 生
ちやうこうしやうかく 成等正
ちやうこうしやう 光明
ちやうしやう 聖
まちやうしゆ 妄
ちやうしゆ 迎
せいふの里 芹生
ぶんちやうそう 光
咲ちふや
中くやう
ちうこう
ちたう 道上
天しやう
かきたう 垣

叫 ぎょうそう
たく ちくしょう 生
たく ちくらく 乱
きょう くうきょう 乱
きょう きょうらく 郎
きょう きょうきょう 兄
たい たいきょう 兄
きょう きょうの猶 兄右
きょう きょうそう 奏
きょう きょうりゅう 龍
きょう きょうかん 幸
きょう きょうよう
きょう きょうらく 郎

四十五 玉篇

そう そうせまって
ぎょう 衣をこぶこう
こう こうりょう
こう こうどう 堂
こう こうめんあせ
こう こうめん 業

まう まうしょう 妄
ぎょう ぎょうこう

四十六 うたふ

ぎょう 体ぎょう
ちゅう 中しゅう 將
しゅう しゅうふきゅう 卿
きゅう きゅうちゅう 法
きゅう きゅうを後
ぎょう ぎょうをふこや

たく たくふ
ぎょう 川浪あらう
ぎょう ぎょうふさ
そう そうつ 僧

四十七 せみ九

ぎょう かいぎょう 行
そう そうし 王
きょう きょうえん 猿
ぎょう ぎょうろう 猴
ぎょう ぎょうてんふう 更
ぎょう ぎょうりょう 両
そう そうてん 蒼
ぎょう ぎょうらうてふう
ぎょう ぎょうらう
ぎょう ぎょうらうてふう
ぎょう ぎょうらう
ぎょう ぎょうらう
ぎょう ぎょうら

天せう 照皇
ちかう 長
面ちう
かんてう 王
こうきく 紅
そせうこの人をまる 李少君ト云人のタシ 誤てをまトいへり 少
そうこ 奏
きやうこの色きせう くそ 上 霄
すいこく 上東碧霄 歌吹国之ト云
まうさく 申
きうくちやう 帳
えんかう 香
ようへう 漂渺
〈コノ条割仮名ニ非ス 但誤の為ノ祖〉
ゆうやう 楊
きやうきく 狂
くうきく 幸
きやうめや 袂も

四十九 孤女

まのふ
あふこち
せうきやう 少將
ちやうとふ和 長
きやうしん 明
きんしやう 上
ゑすてふ
面きやう
風きやうし 狂
ほのき
とうう 王
月てうこん 重
きんきやく 巾上
けいろう 籠
すいちやうこう 帳 紅
けいとうけつ 同
あふハさうれ
そふおを
そふ公北

五十 柏崎

ふそう 市
そせう 訟
たうけ 竹
ちちやう 誕
ちめきやう 行
やんくうし 光
かよういさう 堂
何をさらふと
越後のこ 国府
きやうし 正
きやうくう
きやうらんこたう 堂
かちふまーきそ
えうなんゆいせう 稱 方
くきやう 生
きやくう 淨
九不きやうしやう 上生
きやうりん 上
きやうしやう 上生
ちうみやうなんせう十えう 光明 照 方
こしやう 生
ほのいとおやふ 抱
あふき
一会せうこやう 称名
きやうしゆらいこう 聖
迎
いきやう 香
きやうこう 虹
ぐんさう 相
ふえう 葉
てんくうう 光
きやうし 生
まうしう 妄
ひやうさう 平等
りんなう 悩
さいしやう 障
むなりふ 法
ちやうし 生
きやうしやう 成
きやうかう十えう 方
きみやう 令
きやうし 狂
ほうなふ
ほのこそ

五十一 隅田河

名よりふ
せんとう 頭
のらふする
ふう 総
面ちう
まふする
まのふとハ

西てう 鳥 きやうく人 狂 とうハ 向 ふかきなを きやうく女 ちんかう 名 せうく 少々

とうくはより とうまう 逗 言語たらうん 仏 きやうく 生 むしやう 常生 きやうしちやうや 長

ふちやうの 定 まうしや 亡 ちやうこ 鉦 ふせう 鐘 西さう 方 とうかうとうみやう 同号同名 またうく 荒々

五十二 三井寺

一せう 稱 かうふり うらうかんきやうし 江城 うたう 講堂 くもをいろや てうあいや 多

いとおし かをのまな むしよ かのふ きやう人 狂 ゆうこうろ 庾公 孤 ゆヲ延ニ ろうこ 樓 宮り

ろの 嶠 せいそう 光 まうけて からう 高樓 猶きやうとてよ ちんあう 惱 ちよ

きやうむしやう 行常 せーやうめりかの 生 法 ちんてう 朝 きやうめつく 生 ふーやう 障 ちやうらく 長

まうち 龍 恨をそまる うらうそん 江 かのふ うんかう とうあさう 蓬窓 もう まて 糸 まう

きやうちよ 狂 ほのぬ あんこたらうん ちうらへ 母上 連声ニ ウタフ まのふ ほふを恨八

かうくう 孝行

五十三 百万

ひやうく 指 かまうだ ろう 朧 大やう 聖 きやうき 狂 まりて きやう女 狂 ぎりやあと

ちうふらく 法 舞をまふ ちやうし 長 あふむ きやう 卿 こやう 羊 てうしやく 鳥 そんよう 容

まうてう 朝 けうやう 孝養 きやう人 狂 ちやうしやう 生

五十四 橋川

こうく 東 又う 一流ハみつうト筋 一流ハこふりト伸 うつろふ おりろう きそふん こきやう 卿

たとひあふも きやう女 狂 かろう 仰 名まふ ろうハすあやうう ちめよかろふ

笑 せう
さうふこさめれ
風たう
羽 こう
生 たうやう
のきまハ
あめ時も

卒五 羽衣

不知 くもう 文字
高 こうさん
樓 一ろう
風じく
香 きやうきやう
ども
あふ
行 ひきやう

上 天やう
かあめ
陵 りくまう りんう
美 そうし
つふ
裳 けいしやう
ういう
あめ

方 十ほう
法 ほふ
笙 しやう
きらふ
傘 きやう
成 きやうしう
宝 七ほう

まふとや

卒六 かぐつちと

陽 らくやう
東 とうこく
花 はなく
光 こうかん
草 さうく
名 なよ
法 ほふ

情 草 ひやうさうく
生 きやうやう
光 きやうこう
生 しやう
かなよ

京 なりけきやう
明 ゆうこやう
皇 天ほうのきよう
御宇 ほうのきよう
上 天やう
南 なんこく
たうふ

卒七 蟻通

陽 てんやう
蝶 舞 てふまい
上 ちやう
成 ちやうく仏

焼 くらうていすこく
笑 せう
潮 せうしやく
湘 しやく
燈 ちやうとう
頭 きやうとう
光 こうこく

亡 あれはをとうて
上 こるやう
明 こやうこん
江 こうかく
あをようで
納 かのふ

道 六こう
長 ちやうこう
頭 せんとう
やうやく
坂 ぬかの
とうて名張 てうはり
のりとをようて

上 きんしやう
笑 うやまりてまうす
相 成 そうこう
光 同 わうこうこん
道 八さうきやうたう

卒八 三輪

光 少 らうせうふちやう
定 ていこう
僧 そうつ
頭 さんとう
洞口 とうこう
僧 そうづの多を
添水も

光 ふふ人
生 りうこう
鳥 すてうせい
光 こうせいらう
上 きやう人
草 さうあん
ふふを

ぶしやう 生
ちんたく 乞
えうかん 方
えうさい
かなう
ほさつ 相好
そうて 奏
てんやう 天祚 照

十九 新田

ちきやう 経
みやうし 明
たうや 當
たやうきはくへう 氷
ちやうとう 頭
たうく 酋
こうそく 紅

わうさうとうん 光同
はさうしやうたう 相成乞
ろくあう
めいとう 勤
れうあう 刼
こうつとめてもそしれ

はえう 葉
ろくそうれうあう 僧法
ちんとう 燈
えうきう 宝
とうせん 勤
こうそく 紅
ようさう 光

きんしやう 上
さうく 草

六十 雲林院

かうぶり
ようう 陽
たそやう
らうせき 痕
ぶはきふも
うりうあう
せいきやく 香

けいえうけさ 瑤
さうく 草
ちうしやう 將
女しやうはうてう 姓條
こうきてん 臥
ろんせう 昭

六十一 ものいみ

うけうあう
下きやう 京
ろくよう
おうせう 應
ようあく
ようや
相あく
ちぐめう
面白

きやうくう 行幸
あけうあう
わうさう 光
ぶしやう 生
たしやう 生
きくあう
ろくあう
宵せう

せいきやく 香
ようく

六十二 誓願寺

きやうしや 行
糸うう 篭
せうしやうてん 證誠
かくふり
ちやうくうさうてん 定往生
仏ちう 法

たうちやう 道場
ろくたあうらくやう 陽
せうしやう 称名
ふせう 鐘
ちやうしゆ 聽
しやうめん 上

むさう 想
せうちん 證
みやうう 名号
えんちう 法
えちやう 正
きんきうを会一遍せう 行
しやうこう 證

ちやうくう 上
めうう 妙好
うんけ
うんやう 光明
うんせう 照
ぶつ 方
ちやうあう
しやう 誠
心

向　陽　障　量　経　教

聖　教　名　号　塔　香　同

生　聖　尚　行　明　光　方　淨

迎　接　聖　迎　霊　同　成

堂　同

六十三　遊行柳

行　上　定　往　生　生　望

老　向　乱　草　成　霜　藤　共

行　称　名　係　生　称

祖　生　情　名　方　生　生

常　上　生　生　命　頂　超

葉　皇　京　楊　陽　利　生　力

報　生

六十四　西行桜

京　行　上　草　法　陽　葉

上　情　老　成　鳥　堂

王　昭　僧　正　頂　教

香　少

六十五 木賊

もくさく
からふよ
えらふよ
ゆうはく 應
めいさく 草
きうくうん 賞
そうきま ハウキ 草ト ヨム
俵屋よあるる 生
すいまつく 量
せうこう 證
たうろくめ 陶
らうせい 老
孫よあく
父をうやまく
ちくこうろう 老
こうろう 孝
ろうしゆ 教
ちやうし 長
きめやう 生
まつよ
ろうよハかくこう
すいきやう 狂
ふらうの月 老
あくふの付
仏りよ 法

六十六 唐紅

一さう 艘
みやう 明
きやうたい 兄
ちくやうこきう 生
郷
ゆとう
ゆるをはうやうん
たう 桃
林
たうまつ
一まうよ 毛
まつけて反
やあくよ 上
まうく人 両
きせう一刻 霄
りう 孝
たくみや
ちくよう 納
月ちく
きうく 捐
ちつろく
わなく

六十七 留士之鼓

みちもはさうよ 左右
たうや 角
あくよ 納
ゆて
楽をそう 奏
せうして 乗
天ちう 王
きやうす 上
まくよ
ちくせう 詔
現よあく
ちうくうたく 襲
たうくや 當
こうしん 明
たうこうくよを出しうんらうく 猴 狼 氏語出所をれす 猴ト狼トノ統ニ対
らたふ
ふうりう 蜂
ゆえう 方
ちんあう 惱
ふしやく 常

六十八 梅ゑ

元しやう 生
せをいとふ
せうや 笑
せうふうさうへき 松 草
かなよ
ふよ
こうちん 東
いしやう 賞
たくく 角
天ちう 王
仏りよ 法
きやうちやう 生
ちうふのちきたう 成 道
てんちう 王
まちう 王
てんちうん 聖
りうちう 王
りよ 法
やむ一ふしやく 成 仏

経
想
成
妄
光

六十九 かんたん

仏道
性
羊皮山
王
相
房
光
城
三十余ちやう 丈
長
王
佐
相
老
奏
沈
命
長
耀
草
百官けいしやう 相
一流二 女
ふのうこヨミを三ヨト伸
かうい 更
楼
むむ三ゑう 空

七十 融

東
條
嶋
御宇
眺望
4

相
攻
興
乗
陽
上
鳥
光

七十一 南ノ

超
行
向
道
量
聖教
経
當
法
教
空
草
成
王
御宇
將
称
淨
経
正
迎
命
草
向
三まいのちやう 定
称
名
寥々
老
成
正
法
香
上
朝々
妙
法
法
荘
上

てんめうはうのをんしやうはきてうしつ　セツノ正音ヲしやト張ル　せうまつ
妙法　声　宝　蕭然

せんの正音ヲぢやト張ル　てうくわん　志ほの　ぢやうしん　ゑもうれんてう
光　之法　令　鐘　縁

せうこやうれめうをん　もんちほう　ぢやうしん　くわうみやうたうせう
称名　妙　法　法　光明　照

十えうのきやうをたてさいえうよ
方　生　方

七十二　海人

名をれう　めらくよ　ほちやう　秋迎のさう　むよ　めんこう　かんてう
誕　像　向　朝

渓海こうのほいはうと　こうてい　こうふくし　きやうそし
公　高宗　皇　興　京

まうく　成付えうちんをりて　ぜんよ　ぐやうたやう　領掌
不ら明　光　宝　上

ふちやうなう　三十ちやうれ玉ほう　かうけ　さうへ　えうしつ
定　丈　塔　香　左右

えうこやう　えうか　魂えうしやう　くわうしやう　かうぎやう　うたよ　めうきやう
光明　亡　黄壌フアヤニル　孝行　妙　経

むもんしやう　ほけきやう　てんもう　かうふり　南えう　えうをうふ
声　経　王　方　生

ふくさうのんせうれ十えうみめうきやうかつしんくさう　三十二
相　照　方　妙　浄　相

八十ちやうこうようきやうこんかけしん天人不たいうまうじぐ
好　用　荘　仰

くさう　今ぢきやうれ徳用　くいうト　かいえう　えうこ
敬　経　能来ル　造　成　号

八えうてうかのうこきやう　仏ちやふ　けうやう　きよト
講　朝　行　法　昌　ツテ祇　孝　養

七十三　芦刈

とうまう　見一院　こよう　立まよ市　えきやう　きんこやう　かよ人　ちりよ
逗　一流　みう　　行　　命

しやうそん　名をれう　くまうきよ　えたうふのん　雲えうう　ちうこくのう
賞　　皇　　滴　　上　　調

名ものあり　ちゑのさうたん　道　あふのねぶ　ゆきてたう　まりふすう

七十四　後寛

きやうこく　相　ひしやう　常　せうしやう　少將　いまうらく　黄　へさう　道　ちくさんちやう　請　たうゆう　道

まうし　王　ふさうのし　一説ニさう　萌　枝　枝葉枝　かうへ　たうむろ　道　ちくえふ　葉　てうやう　重陽　さうそ　彭

ちやせうる　法勝　ちやふしやう　法成　寺　きけんし　城　かちやう　ちやめんちやう　狀　ちやうせう　生

まれをふ　そうつ　僧

七十五　盛久

ゑとう　東　いせう　補　こきやう　卿　せしやう　上　まさよう　行　あふ坂　光　ゑうゐん

ありそれとう　下　ひろう　向　ひろう　露　古来ヨリ初ニテ　ろうトヨム　こやうや　明　はたそうし　芳

ちやうこう　聽　ちやうこふやくのうてん　定業　能

ちきたう　道　そんさう　導　えんしやう　生　ぬしやう　生　ゑまう　蟹　たいしやうこまう　聖　ようこまう　妄

まくさうまうちんくまうんきやう　遭　王　刑　たうしん　刀　ちくしやうちやうらうひやう　生　老　病

ちろうやうめい　令　三ゑさう　たゑ　ろやうせん　靈　西さう　方　かうふう　まちまうけ

きこうろう　実　ろうよりろう　牢　ろうよりろう　牢　せう孫　孫　ゑうせん　性　うたふ　しやうかく　正

不さう　到　ゑさうゐん　光　てうちや　朝　せう蕭　蕭　ゑさう　窓　さうもん　耿　かうせんちやうそう　老　僧

うくあ　香　すいしやう　晶　めうゑん　妙　らくやう　陽　むさう　想　いさふそく　かんのう　能

不まう　望　あみり　春の　興

七十六　景清

悪七（兵）　とをたうこ　やうくく　せう門（松）　せいそうく（光）　けうう（曉）　そうゝ

休らく　こたよへき　ねとうよ　こやうく（名）　まうく（盲）　まうく　何のようよ（用）　こたよへき

ちやうよ（長）　ちうしやう（傷）　下うく（向）　云後さうたん（た）　ようかん（両）　こうたう（勾）　ちんこやく（命）

すいやうく（量）　こたよへ　こきやく（郷）　せんうく（行）　むよう　うしあく　かちよまし

せんうく（浚）　ふまう（望）　ちうこやうのやうう（高）　ようう（名）　ようちん（両）　せうふ（勝）　のさまやう

九らう（郎）　さうゝん（判）　かけむよく　世さうへ（方）　さまうしや（様）　優　さうへ（左右）

七十七　安宅

さうゝん（判）　こう（鴻）門　三らう（郎）　ひさちさう（房）　ちやう（上）　とを（十日）　ちふさう

ちのさうはや　ちうたうく（た）　下うく（向）　たんふあらく（合）　ふあらよ　ふすあと

強され　ちんがう（冥）　かやう（様）　だいそのよ　うんう（剛）　杖　そう（東）　たい寺

きやくそう（僧）　小傳たうく（道）　ちやせう（勝）　りんらく（答）　ふやう（祥）　ちんやうく（常）　よ（珠）

せらまよする　皆ちうく　きやうく（行）　ふう（動）　みやうそうのそんよう（明王）（容）

さうゝん（宝）　たいさう（義）　八えよ（業）　せうらんさう（照）　えんちんてふ（牒）　ちやうん（聽）

そうらん（往）　けう（教）　ちやうく（生）　ちやう（長）　ちやうや（聖）　むそうてい（皇）　まいちやう（場）

ちやうせうてうゝん（乗）（房）（重）　一流にてうと（ワルハ非ニ）　たう（奉）　たうらい（當）　きやう（命）　うや

まんてまうす　一こう（同）　あよ（昌）　嗚呼（感）　ちさよすると　災あよく　そうして（趣）

ちやうちやく（打）　たうくくよか（盗）　をくひやう（病）　おそれつたう　ちかう（近）　ちやうう（生）

さうなん（方）　遼（りやう）ちんこう（東）　ちん　聊（りう）　はめよからよ　さけをのまよ

弟をまつよ	三たのゆうそう 僧	終んそうたり	

七十八 弃の木

弟をまつよ	三たのゆうそう 僧	終んそうたり	
ちゑきやう 行	かつつけの函 せうし 笑	面もろう	かまう 毛
弟子をそうして 七	十八ちやう 町	弟せかさう	かやうのおろつる
弟せよ	おそらく	中ごろ	そうして 愈
ひさう 藏	ありさう	ちんきやう 行	重かうして 封
あつやう 押 領	さいそうし 明	一ぞう 領	ちやくさう 到
ちつし 法	くそう 方	こう 東	八ケ国の大そう 名
ちつし	博ちやう 諚	ようよう 腰右ヲ誤ル ヨウユウ	抑たう 妙
三ケ所しやう 莊	さう 相	自筆のちやう 狀	ちやうたい 頂

七十九 自然居士

領	化野のしやう 莊	三十余そう 郷	忍したつる
報	かつけ		
さう 造	せつりつ 法	たつし 導 高	さ
うやまつてまうす	一代けうし 教		
室 号	ナそう 方	まつしてまつさう 申 申	そうし 愈
聖 霊	うんせう 證	くやうし 養	せんさう 考
経	三そう宝そう 僧	ちやうし 聽	とう 東
いそ海をこふて	見みう	後ろへう	ようそやう 様
量	たつて 乙		
道	かそう 等	よそ西しやう 生	かいくちやう 成
仏さう	そ西きやう 行		
事ざふよ	何のよう 用	系せさう	せうし 笑
四大そう 法	三ケ大そう 法		

法 拷 行 頭 狂 高 黄 御中 鳥江 上 龍 聾 行 行 生 頭 行 嘲 繫々 丁東

八十 東春花士

東 聽 境 法 鄉 道 狂 法 螺 鈔

法 生 正 像 法 生 妄 障 惱 生 明 妄 生 道 焦 生 盛 兩 芒々 上 嗚呼 宝 法 相

八十一 葵の上

僧 高 僧 請 法 秘 法 醫 療 上 霊 霊 清 淨 生 定 蕉 泡 一説ニハ波上泡沫

| | | |

容 経 聖教 能
松 屏 悩 狀 王法 生 調
琴 草 成 焼香 向 生
唐 王 褒 朝 両 製

八十四 紅葉狩

鶴 上 屏 紅葉 妄 涼
明 生 陽 丈

八十五 山うば

京 童 光 方 浄 来迎 往

亡 望 名 世情 妙 妙
生 妄 調 拍 生
業 生 境 渺々 伸ハウト 香 行
鳥 畳 濤 洞 声 谷
松 常 苦 木 下々
法性 上 明 表 生
性 生 正 法 悩 焦
生 生 紅 結 乗

八十六 安達原

東光房　撥行

いとかうて　まそをの糸　後れての　詠竹ニ依

生　行　有

生　生　移

五六たう　五　五　五

たんせう 昭　あふやさくら　嗚呼ノ心之　ふしやく 上　和さく 光　こうえふ 紅葉

かけうふ　うんせう 松　みやうし 名　さくうこうふ 枝　さやうしうんせう 生 證

あふさくや 廣　嗚呼心　ほうさくまうしうう 猛　さくしやうゆ 放生　川

九十　舟橋

ながつづけ 上野　まうしへうえう 徃 測 莞　ふかきさくふ　さやうし 生　こう立 興　いかのきよう 御宇

まんえふさふ 葉　たさふまうしう　さくやく 妄　こさう 宝　ふさう 道　きやうさや 行

しやく成 仏　こふぬうき 業　ふしやく 障　こさふ 蝶　ほうふせうさく 法

九十一　ふーき木

とうこく 東　きやうさく 行　ふの里 狭布　ふの細布 狭布　名ふ　ふ 南　名ふ

たんこう 答　あふへき　こきやく 郷　さく 唯源氏事ヲ受名答之　いてくさくハ教やうん

せうけい 松　ふくろう　たしやく 生　ふくろう　きさくたりちやく 丁　一せう 乗 妙　ちうん

ちふ 迫　ほうすく　あふむの盃　ふさうたふも　せうふう 松

九十二　阿古木

日にむふ　かすふ　せうしやく 生　立さふ 帖　ほうふこも　そうして 惣　はさうこう 光

てうこう 調　名ふ　ほうふ　他やく 生　立さふ　一せう 乗　ふこそ　さやう 猛　火

ふをつむ 業　せう 焦　神

九十三　うふ

神ちやく 定　まうふ 猟　せう 義　うん　まうしや 亡　さやうしうんせう 生 證　うふ

やうと 永 三悪 こうく 道 さうとうくやうく 造 糧 こやうく 名号 せう 稲 ふよさうろ 霜

かふ いとあーき ちよとう 童 横障 もうーへうく 往 渺茫 士のうこう 農工

しやうく 商 せのーしやう 生 ちろうーて 白 くんとう 冬 赤とちふ ふーを 猟

けてう 鳥 こやうく 猛火

九十四 指例

指つふ せろーしやう 生 きくやうく 陽 まうらい 往 ゑーがやうろう みさうく 堂

ゑーせふ きんこやうく 命 止つへう 祢らふ 一ちたーやう 生 さうのは 左右

きやうこう 向後 まうーや 亡 ちゆうさうにん さんーやう 障 こふーき 業 ゆとふ

こふよのり 業 ゆきやうく 経 きやうく 境 いかうく 江 ちのさう 相 すいさう 相 まうう

九十五 鶏

めうれ 妙 一字 たうく 褒 きやうく 経 こハそれ ちうく 聖教 けう 二せう 乗 そう 僧 えとくやうく 糧

ろうーう 篭 まうき ちうく 盲 亡 きよう 御宇 ゆをちふて 上 ちなう 悩

うくそう 高僧 きそう 僧 大ふ 法 とうこう 東 こてう 條 くきやう 卿 ようう 両 ひやうこ 兵

らうとう 帝等 ちけとう 羽 しこう 候 ゆとう 飄 えとりやを 唯 深心

たーやう 生 ちうさう 相 ちきやう 経 一仏しやう 成 こうく 道 さうく 草 うーやう 情

ひーやう 情 かいくちうく 成 仏さう 仏 とう 同 性 外さう 道 仏ふ 法 王ちう 法

ちうーく 王 城 ちうこう 頭 ひきやう 行 ちうく 王 ちうこう 公

九十六 舟奔走

さいたう 塔　武蔵房　そうくそん 判　きやくたい 兄　ちんきやく 兄　ていこう 向　ついこう 討

きつふ 付　けらやう 誕　きんたう 妙　かんよう 要　そこう 濤　面目ちう　人こう 口

てうし 調　とこう 口　ことう 頭　立まふ　たうし 陶　ちこうはこうせんの 仏 勾　ごそう 王

こうめい 功　こうちり 功　せうせん 小　ちんこう 濤　生こう　ちこうそう 逗　すいそやう 量

せうしや 笑　修化よそうきやう　かいしやう 上　悪そやう 霊　ふこう 仏　ちやうん 冥

主しやう 上　こうゆん 後　こうすう 亡　むくふ　かちふ

ちんそやう 霊　東方後三世ハイリ葵上ヨリ出る故宴ニ暮ス

九十七　春日龍神

こやうゑ 明　入こう 唐　こうくん 明　下こう 向　ちこう 光　山ハとうさう 動　神こう 仏

長　しやうく 上　きやうく 郎　さうく 九右　の眼そやうれを 両　おうこ 擁　かちふへき

そやうしゆせん 霊　さうりく 草　しやうこ 浄　ふハ武蔵殿の 御　こうし 當　しやう 仏　ちふ 法

ゑし 生　ちんきやうく 行　せうき 小　きやうく 瓔　まやのたんしやうかや 生

のしやうこう 成道　ちゆふれせんり 法　ふさうそう 雙　ちんこう 動　そうわく 王

ちやうん 聽　めうりふ 法　持りふ 法　こうし 恒　ちまふ　ちふハ白玉　南こう 方

九十八　そう西天狗

そう 僧　きやう 正　こう 西　啓しやう 上　そうこのこうきやう 両童形　こう 明日

ちこう 近　しやうこう 賞　こう 同　しやうふ 鵲　ちやなこう 王　せうこう 松

ひやうふ 兵法　ちふきこう 伯房　三こう 郎　一こう 統　せう 小　天狗　ちんこう 師匠

いとおしの人　こうとの所ちやうとの者ちやうせきこう 公 黄 張 良

さうてん 相　こうしやう 上　あうき 奥　たうす 房　原平とう 藤　橘　こうめん 後　さうた 蒼

おきやう 行

九十九　せうい

大さう 唐　さうこやう 領　せうむう 房　いとう山ちやうしゆ 王　青龍　せいりうしゆ 唱ハ猿

せう 小　玉　仏ちやう 法　ちやうし 初　たちやうこう 帝　房　二ぢう 教　あうき 奥　たちやう 蟷螂

えんこう 猴　そうしやう 増 上　大しやう 聖　しやうこう 明 王　火しやう 生　ちんせう 焼

うんぬのさう 相　けう 凝　ぜんふこう 動　ちやうしやう 生　ちんさう 想　まきやう 境

うんちやう 法　けちえんれこう 功　うよりさんぢやうこう 九　ちやうてき 法　未未やう 永

きやう 行　うしや　うま 降　かくてやう 漸　さうわくちんこう 草 動　ちやう 障　け

まさう 道　ぜちやうをさちやう 法　ちやうし 九 聖　自しやう 性　ちやうしやう 清 浄

ちやう 聽　うんこう 王　おきやう 行

百　得く

やう 揚　す　かう 不分明　ふう 風　こう 考　ようよう　ちやう 程々　ちんやう 陽

あつて 嫉　き　くまつよ　まつよ　教 繫　こうとう

右百番の格まて所ハ唯〳〵和尚〳〵詞〳〵ハ

前段を見合せ此所ハ文字ハ字書まて考ふ

百〳〵

古語ノ曲言(一方)を揉(メメ)て直(ナヲキ)に為(スコ)んとする事有
正音とても如何く優く所為とまでハ言難
きく所為に成却て中曲弦害するやうな
成所を考へ〳〵さやうに不を知て持ものも
いまだ是又頼怜の心得あるべき事なり
蕊角たけくらべなやまるを恨むなし